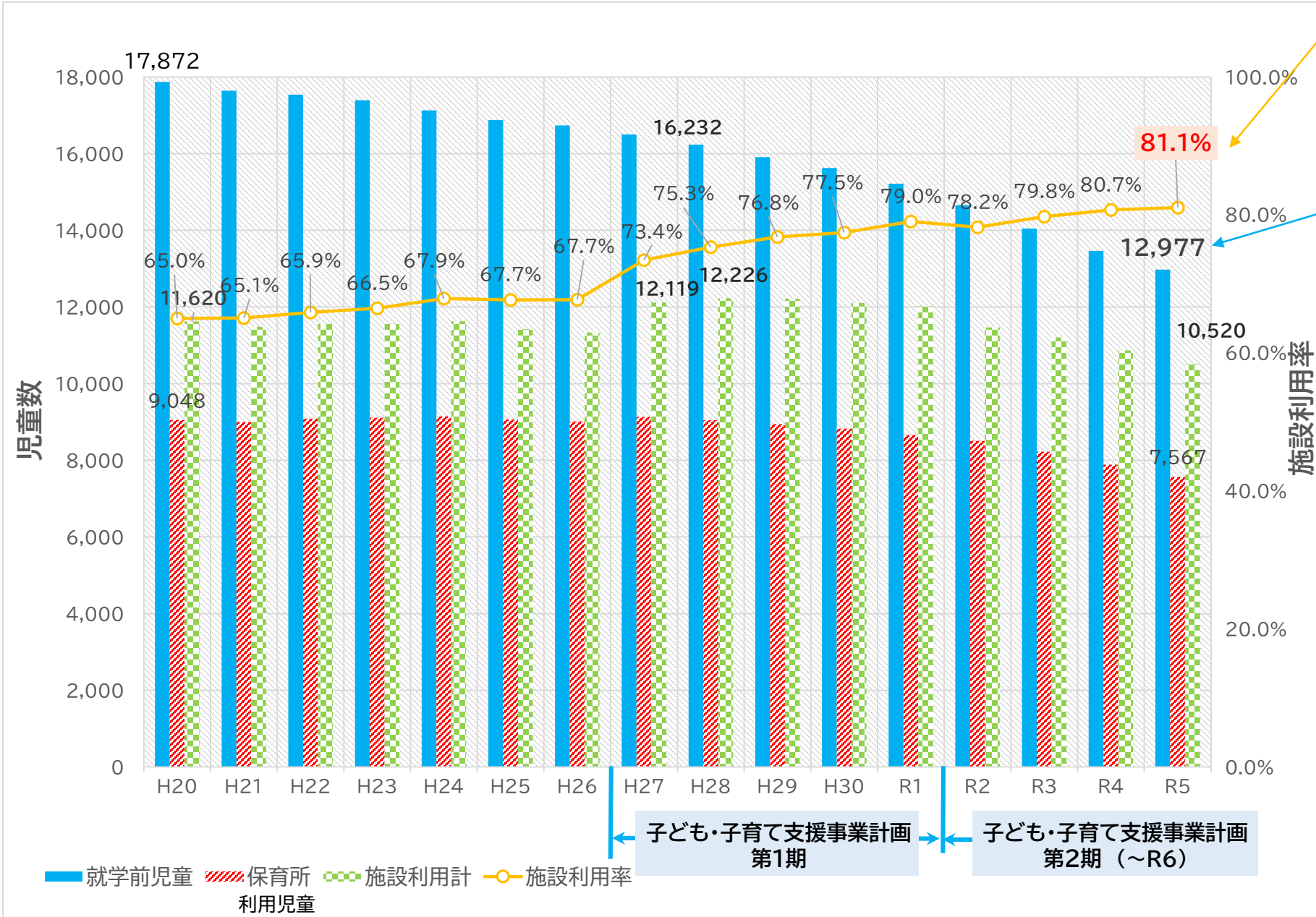


2023年社人研データを 基にした教育・保育需要推計

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

1 高知市就学前児童数の推移と 将来の推計児童数について

(1) 高知市の就学前児童数の変化と教育・保育施設の利用率の推移



施設利用率は上昇傾向が続いている。

就学前児童数は
27%の減少

子ども・子育て支援事業計画 第1期

子ども・子育て支援事業計画 第2期 (~R6)

全国と比較しても、就学前児童の施設利用率は高い。

【就学前児童の施設利用状況】

令和5年4月1日時点

	全国	高知市
3歳未満児(0~2歳)	44.6%	61.5%
うち 0歳児	17.0%	23.0%
うち1・2歳児	57.8%	79.7%
3歳以上児	59.5%	98.2%
全年齢児計	52.4%	81.1%

「全国」出典：こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」

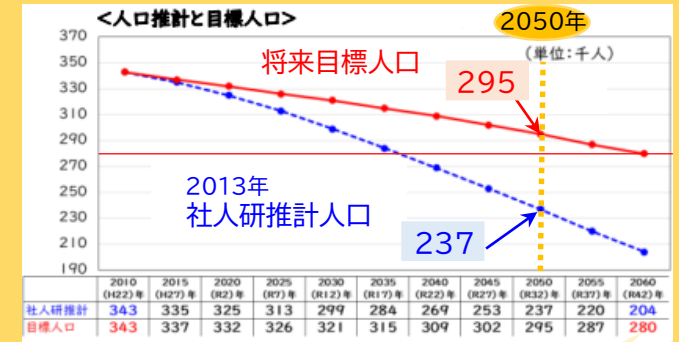
(2) 将来の男女5歳階級別推計人口

【高知市(2020年は国勢調査による実績値)】

26%の減少

男女計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総数	326,545	311,164	298,280	284,864	270,644	255,989	241,483
0~4歳	11,447	9,330	8,795	8,539	8,164	7,602	6,814
5~9歳	12,946	11,232	9,212	8,692	8,448	8,086	7,537
10~14歳	13,854	12,626	11,140	9,141	8,628	8,389	8,033
15~19歳	15,596	14,406	13,069	11,544	9,469	8,916	8,656
20~24歳	14,817	14,284	13,112	11,915	10,583	8,659	8,114
25~29歳	13,983	13,547	14,056	12,971	11,825	10,530	8,621
30~34歳	15,239	13,299	13,737	14,211	13,177	12,040	10,740
35~39歳	18,521	14,766	13,317	13,778	14,265	13,233	12,113
40~44歳	22,116	18,330	14,676	13,242	13,712	14,203	13,185
45~49歳	26,421	22,014	18,278	14,642	13,215	13,701	14,203
50~54歳	21,681	25,779	21,901	18,262	14,643	13,224	13,728
55~59歳	21,110	21,123	25,364	21,568	18,004	14,452	13,067
60~64歳	20,139	20,569	20,783	24,999	21,278	17,789	14,301
65~69歳	21,971	19,342	19,891	20,157	24,288	20,702	17,340
70~74歳	25,696	20,860	18,336	18,916	19,235	23,219	19,829
75~79歳	18,707	23,588	19,280	17,031	17,637	18,017	21,784
80~84歳	13,692	16,248	20,782	17,094	15,218	15,859	16,333
85~89歳	10,727	10,445	12,663	16,487	13,668	12,336	12,995
90~94歳	5,827	6,549	6,498	8,054	10,797	9,051	8,353
95歳~	2,055	2,827	3,390	3,621	4,390	5,981	5,737
(再掲)0~14歳	38,247	33,188	29,147	26,372	25,240	24,077	22,384
(再掲)15~64歳	189,623	178,117	168,293	157,132	140,171	126,747	116,728
(再掲)65歳以上	98,675	99,859	100,840	101,360	105,233	105,165	102,371
(再掲)65~74歳	47,667	40,202	38,227	39,073	43,523	43,921	37,169
(再掲)75歳以上	51,008	59,657	62,613	62,287	61,710	61,244	65,202

高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン



2060年 市の目標人口
280,000人

※出典:高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
(平成27年10月)

42%が
65歳以上

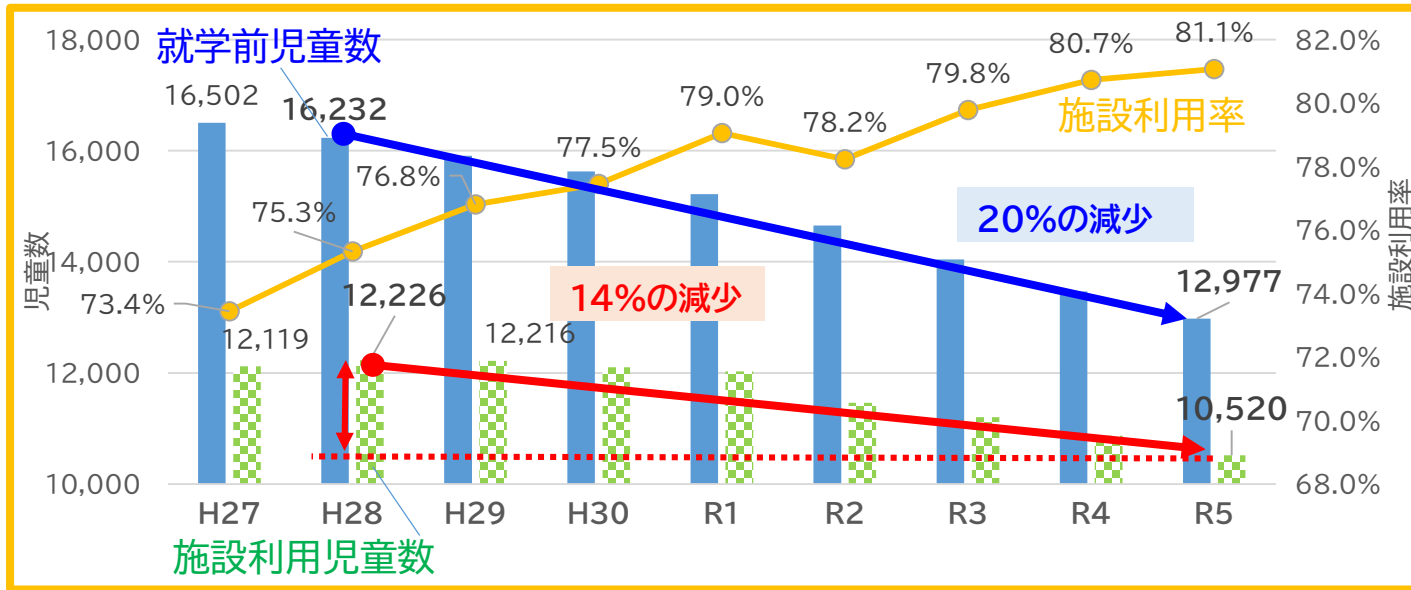
出典:社人研「日本の地域別将来推計人口」(令和5年(2023)年推計)

※ 国勢調査の年齢・国籍・配偶関係の不詳を補完した数値。



(3) 施設利用率の上昇傾向について

P.3 抜粋



施設利用児童数は、H28年のピーク時と比較しても、14%の減少に留まっている



結果的に施設利用率は上昇傾向が続いている

《施設利用率上昇要因の一つ》 共働きの増加

【共働き世帯の割合】

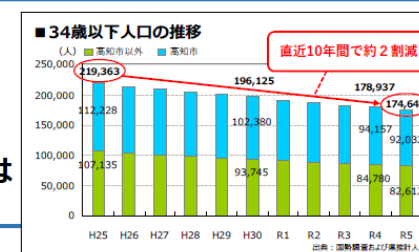
※共働き世帯の割合 = 共働き世帯数 / (夫婦のいる一般世帯のうち6歳未満の子どもがいる世帯数)

	2015年(H27)	2015年(H27)	2020年(R2)
全国	40.4%	48.5%	53.8%
高知県	55.5%	62.5%	67.3%
高知市	50.4%	57.5%	63.5%

※ **令和5年度**に実施した「高知市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」(速報値)では、父母が共に共働きである割合は、**82.0%**であった。

出典：国勢調査

- 本県では、**34歳以下の人口が直近10年間で約2割減**。このうち、**20～34歳の人口は年平均で約2,400人ずつ減少**。
また、令和4年の出生数は47都道府県で最少となり、**年間出生数が30人未満の市町村は20市町村**にのぼるなど、**若年層を中心とした人口の減少が深刻化**
- こうした現状に歯止めをかけ、**地域に若者が増えた持続可能な人口構造への転換を図るためには県と市町村が目標を共有し、ベクトルを合わせ、連携して取り組むことが必要**



新 高知県人口減少対策総合交付金 (事業期間：R6～9年度の4年間)

- 市町村が地域の実情に合わせて実施する人口減少対策を総合的に支援
【交付対象事業】①若者の増加、②婚姻数の増加、③出生率の向上、④共働き共育ての推進 ※新規・拡充事業が対象
- 全ての市町村に配分する「Ⅰ基本配分型」と、県の掲げる目標(若者(34歳以下)の増加、出生数の増加)の達成につながる取り組みに加算する「Ⅱ連携加算型(手挙げ)」の2つで構成

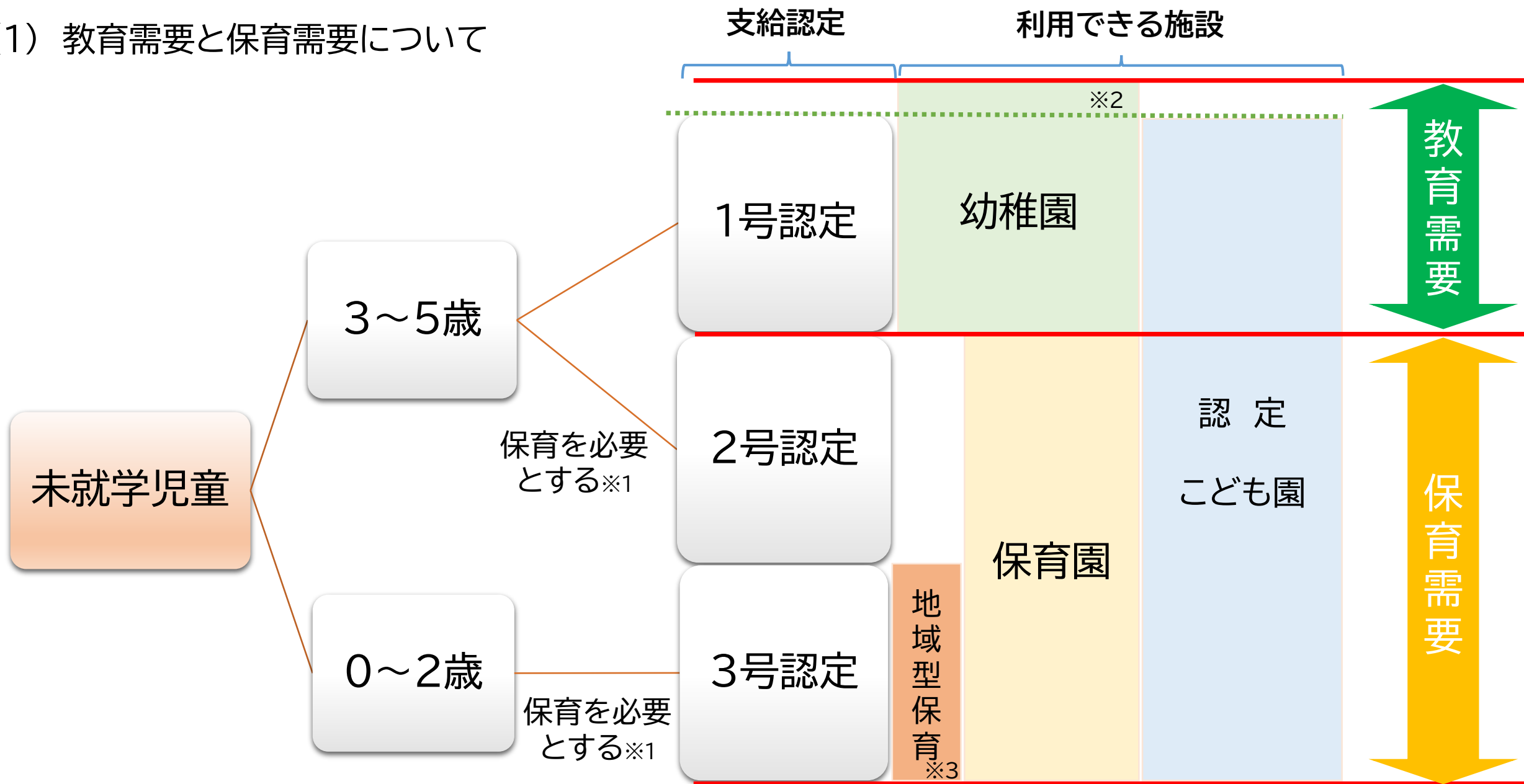
Ⅰ 基本配分型<ソフト>		Ⅱ 連携加算型	
<ul style="list-style-type: none"> ○人口割、均等割等により、全ての市町村に配分 [交付額：300～7,500万円程度/年] ○交付対象事業(上記①～④の目的に資するもの)に該当すれば、市町村の裁量で活用可 		(1) 連携加算型<ソフト>	(2) 連携加算型<ハード>
		<ul style="list-style-type: none"> ○交付率：原則、2/3※ 	<ul style="list-style-type: none"> ○交付率：原則、1/2※
		<p>ハードの交付額は、Ⅱ全体の50%未満</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ○1市町村あたりの交付額(上限)※ 案：4年間(R6～9)通算 <ul style="list-style-type: none"> ・人口1万人未満 5,000万円 ・人口1万人以上 1億円 ○県の掲げる目標の達成につながる取り組みであって、次のAまたはBに該当する事業 <ul style="list-style-type: none"> A：県が直接実施する取り組みと連携することでさらなる相乗効果が期待される事業 B：市町村が創意工夫を凝らして独自に実施する先駆的事业 ○市町村は数値目標を設定した事業計画を作成 <ul style="list-style-type: none"> ※目標設定に必要なデータの提供や、県・国の施策の情報提供、市町村が実施する施策への助言など、市町村の計画づくりを県がサポート 	
		<p>※知事特認による嵩上げ・加算あり</p>	

出典：令和6年1月24日
市町村説明会資料

県補助事業(保育サービス等推進総合補助金(家庭支援推進保育事業))が廃止されるが、来年度以降も、県交付金を活用し、配慮が必要な家庭への対応など地域のニーズに応じた保育士の配置により、保護者の子育てへの支援をさらに充実させていく。
また、④共働き共育ての推進につながる新規・拡充事業により、県と連携しながら、人口減少対策に取り組んでいく。

2 高知市の大街小巷の 推計保育需要について

(1) 教育需要と保育需要について



※1 保育を必要とする事由…就労, 妊娠・出産, 疾病, 求職活動等

※2 私学助成幼稚園, 国立大学付属幼稚園など

※3 地域型保育…小規模保育施設, 事業所内保育施設

(2) 総務省推計方法による高知市0～5歳, 及び3～5歳推計児童数

※算出方法はP.23【参考 1】へ

単位:人

男女計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総計	326,545	311,164	298,280	284,864	270,644	255,989	241,483
0～5歳	13,937	11,399	10,600	10,277	9,830	9,076	8,279
3～5歳	7,354	5,930	5,320	5,184	4,985	4,576	4,265
※参照 R4答申							
0～5歳	14,869	13,333	12,451	11,771	11,107	10,428	
3～5歳	7,626	6,825	6,300	5,980	5,647	5,316	

約35%減

約25%減

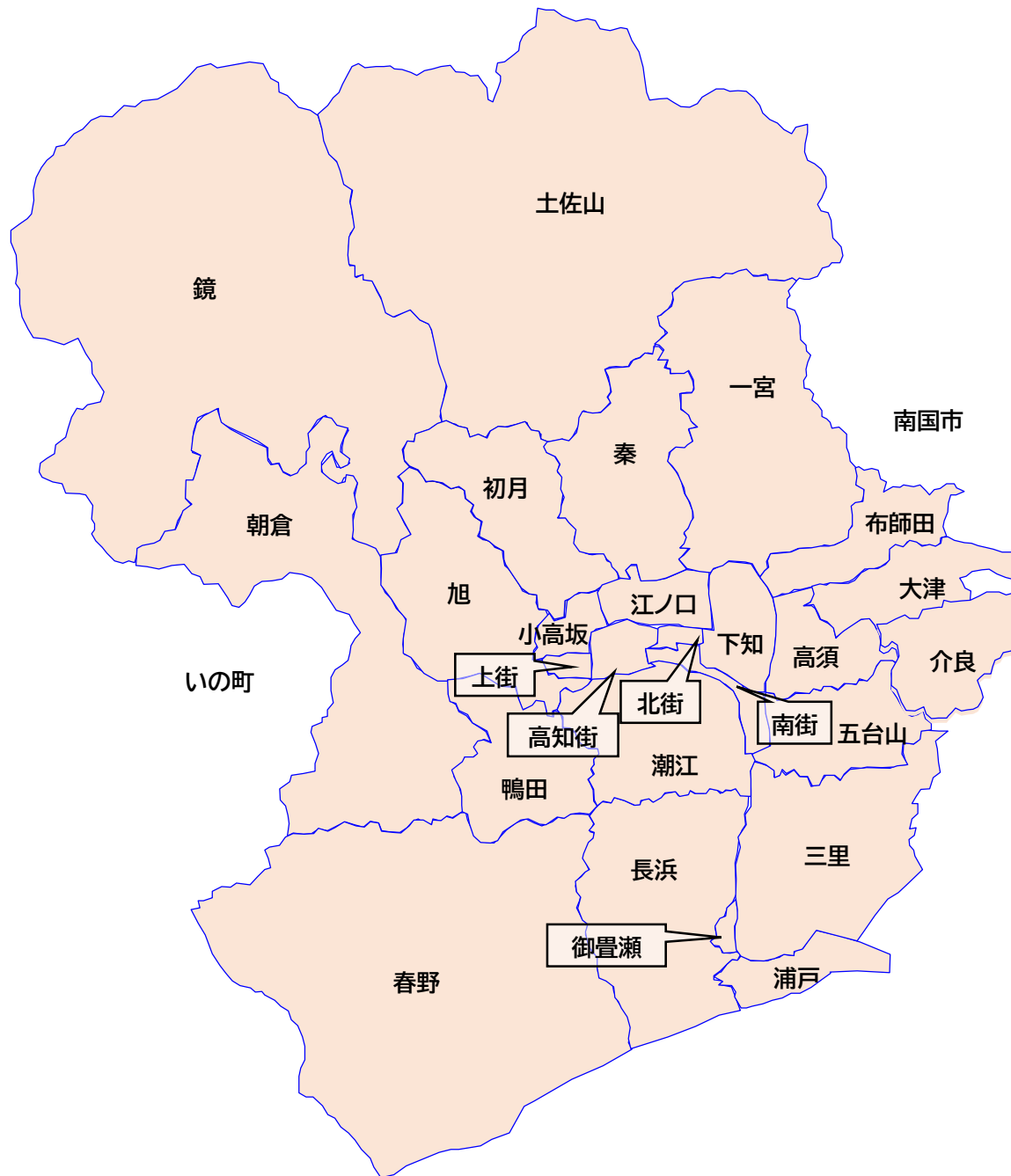
※ R4答申では2020年国勢調査人口(13,937人)と比較して, 2045年には約25%の減少が予測されたが, 時点修正された推計では, 減少率がさらに大きく約35%となる結果であった。

2050年には約40%減少すると推計されている。

(3) 高知市の大街について

高知市の大街

「鏡」「土佐山」「朝倉」「旭」「初月」などの各地区を、高知市では「大街」と呼んでおり、26の大街に分かれている。



(4) 高知市大街毎0～5歳児童数(2019年から2023年 各年4月1日現在住民基本台帳)

年	0-5歳児 計	上街	高知街	南街	北街	下知	江ノ口	小高坂	旭街	潮江	三里	五台山	高須	布師田
2019	15216	99	174	99	155	952	661	413	1,703	1,054	441	80	615	65
2020	14653	83	199	105	156	872	662	404	1,682	1,023	389	77	575	66
2021	14043	78	188	103	152	827	664	377	1,616	970	359	68	535	51
2022	13463	75	178	96	138	782	673	369	1,508	943	311	69	505	52
2023	12977	78	183	106	132	781	645	356	1,430	900	290	55	480	46
変化率	-14.7%	-21.2%	5.2%	7.1%	-14.8%	-18.0%	-2.4%	-13.8%	-16.0%	-14.6%	-34.2%	-31.3%	-22.0%	-29.2%

1 3

年	一宮	秦	初月	朝倉	鴨田	長浜	御豊瀬	浦戸	大津	介良	鏡	土佐山	春野
2019	1,359	946	919	1,443	1,317	1,106	3	5	559	525	30	36	457
2020	1,324	880	887	1,387	1,248	1,073	4	9	532	536	24	40	416
2021	1,284	865	887	1,334	1,206	984	3	13	520	518	26	39	376
2022	1,220	820	821	1,276	1,212	939	3	15	520	515	20	35	368
2023	1,186	809	784	1,262	1,138	905	2	9	490	499	25	30	356
変化率	-12.7%	-14.5%	-14.7%	-12.5%	-13.6%	-18.2%	-33.3%	80.0%	-12.3%	-5.0%	-16.7%	-16.7%	-22.1%

2

【 大街毎の推計児童数算出方法 】
 2023年4月1日時点の児童の大街占有率が継続すると仮定して算出

- 増加した大街 : 浦戸, 南街, 高知街
- 減少が大きい大街 : 三里, 御豊瀬, 五台山

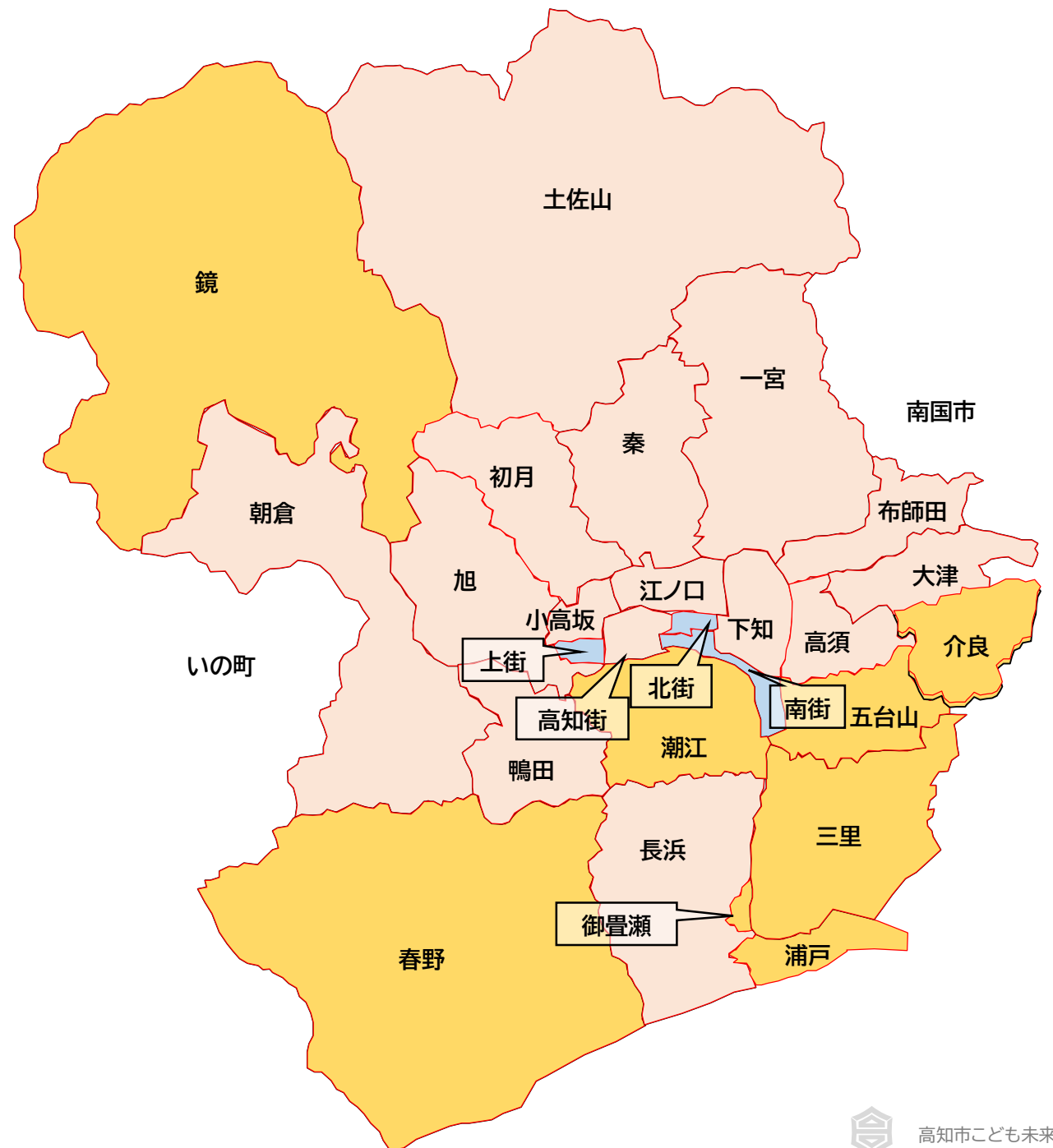
(5) 大街毎の保育需要(2・3号認定子ども)の推移と定員充足率について

施設の 地元率	保育需要推計(2・3号)								2022 利用定員	2023.4.1 利用定員	定員の 増減	定員充足率 2023.4.1時点の定員に 対する保育需要			〈参考〉 R4答申 2025 推計① RANK
	年	2023	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2022	2023	2023- 2022	2023	2045	RANK	
上街	14.3%	91	81	75	72	69	64	58	120	120	0	75.8%	53.3%	21	15
高知街	19.6%	291	256	237	230	220	204	185	340	350	10	83.1%	58.3%	15	2
南街	14.2%	204	179	167	162	155	142	131	260	260	0	78.5%	54.6%	20	14
北街	28.7%	115	101	94	91	87	80	73	157	156	-1	73.7%	51.3%	23	1
下知	62.4%	298	261	243	236	226	208	190	401	356	-45	83.7%	58.4%	14	13
江ノ口	40.6%	714	626	583	566	540	500	456	753	743	-10	96.1%	67.3%	3	12
小高坂	42.5%	247	217	202	195	188	172	158	310	310	0	79.7%	55.5%	19	5
旭街	70.9%	1098	964	897	870	832	768	701	1,242	1,253	11	87.6%	61.3%	10	7
潮江	63.5%	841	739	687	666	638	588	537	1,035	952	-83	88.3%	61.8%	9	21
三里	85.2%	230	202	188	182	175	161	147	300	290	-10	79.3%	55.5%	18	20
五台山	18.7%	193	169	157	152	146	136	123	275	235	-40	82.1%	57.9%	16	22
高須	56.9%	432	379	353	342	327	302	276	491	503	12	85.9%	60.0%	11	17
布師田	32.4%	74	65	61	59	56	52	47	100	90	-10	82.2%	57.8%	17	16
一宮	74.8%	857	753	700	679	649	599	547	841	941	100	91.1%	63.7%	7	6
秦	78.4%	347	305	283	275	263	242	221	430	330	-100	105.2%	73.3%	2	3
初月	64.5%	389	342	318	308	295	272	248	369	419	50	92.8%	64.9%	5	4
朝倉	81.5%	870	763	711	688	659	609	555	945	945	0	92.1%	64.4%	6	9
鴨田	73.5%	645	567	527	510	489	452	411	716	722	6	89.3%	62.6%	8	10
長浜	90.5%	611	537	499	484	463	428	390	717	717	0	85.2%	59.7%	12	18
御豊瀬・浦戸	26.3%	19	17	15	15	15	13	12	20	20	0	95.0%	65.0%	4	25
大津	70.0%	330	290	270	261	250	231	211	405	395	-10	83.5%	58.5%	13	11
介良	85.6%	270	237	221	214	205	189	172	365	365	0	74.0%	51.8%	22	19
鏡	66.7%	6	6	5	5	5	4	4	18	18	0	33.3%	22.2%	25	24
土佐山	81.5%	27	23	22	22	21	18	17	19	19	0	142.1%	94.7%	1	8
春野	67.9%	349	306	285	277	265	244	222	584	550	-34	63.5%	44.4%	24	23
	64.5%	9548	8385	7800	7561	7238	6678	6092	11,213	11,059	-154	86.3%	60.4%		

※ 〈参考〉2022答申 2025推計①RANKについて・・・2025年の保育需要が2022年の定員を充足する割合のRANK推計①は、2015年国勢調査に基づく推計

●2045年大街毎保育需要推計と定員充足率

	定員充足率 2023.4.1時点の定員に対する保育需要				〈参考〉 2022答申 RANK
	2023.4.1 利用定員	2045 保育需要	2045 定員充足率	RANK	
上街	120	64	53.3%	21	15
高知街	350	204	58.3%	15	2
南街	260	142	54.6%	20	14
北街	156	80	51.3%	23	1
下知	356	208	58.4%	14	13
江ノ口	743	500	67.3%	3	12
小高坂	310	172	55.5%	19	5
旭街	1,253	768	61.3%	10	7
潮江	952	588	61.8%	9	21
三里	290	161	55.5%	18	20
五台山	235	136	57.9%	16	22
高須	503	302	60.0%	11	17
布師田	90	52	57.8%	17	16
一宮	941	599	63.7%	7	6
秦	330	242	73.3%	2	3
初月	419	272	64.9%	5	4
朝倉	945	609	64.4%	6	9
鴨田	722	452	62.6%	8	10
長浜	717	428	59.7%	12	18
御畳瀬・浦戸	20	13	65.0%	4	25
大津	395	231	58.5%	13	11
介良	365	189	51.8%	22	19
鏡	18	4	22.2%	25	24
土佐山	19	18	94.7%	1	8
春野	550	244	44.4%	24	23




(6) 大街毎の人口推移と保育需要について

新しい人口推計を基に保育需要を算出すると、2045年に現在の定員と保育需要に大きな乖離が予測された大街は、**鏡, 春野, 北街, 介良, 上街, 南街**。

※ 参考) 令和4年度答申 御畳瀬・浦戸, 鏡, 春野, 五台山, 潮江, 三里, 介良

前回の推計では大きな乖離が予測されていない中心部の大街でも、市域全体の人口減少が影響し、保育需要の低下が予測される結果となった。

利用児童の減少に合わせて、定員を昨年度から減じた施設が多くあり、充足率が緩和されたように見える大街があったが、市域全体では**保育の推計需要の減少は、昨年度より大きくなる**ことが予測されている。



○ 年々利用児童数が減少しており、平均充足率は、市域全体で2023年 86.3% → **2045年 60.4%**まで減少することが予測される。

○ マンションの建設や宅地開発によって市内の人口分布は変動しているため、単純に推計だけではなく、地元外からの利便性、災害リスク等も加味して将来の在り方を検討する必要がある。

3 高知市の大街毎の

推計教育需要について

(1) 総務省推計方法による高知市3~5歳推計児童数 <P.10再掲>

※算出方法はP.23【参考 1】へ

約38%減

単位:人

男女計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総計	326,545	311,164	298,280	284,864	270,644	255,989	241,483
0~5歳	13,937	11,399	10,600	10,277	9,830	9,076	8,279
3~5歳	7,354	5,930	5,320	5,184	4,985	4,576	4,265
※参照 R4答申 { 0~5歳	14,869	13,333	12,451	11,771	11,107	10,428	
3~5歳	7,626	6,825	6,300	5,980	5,647	5,316	

約28%減

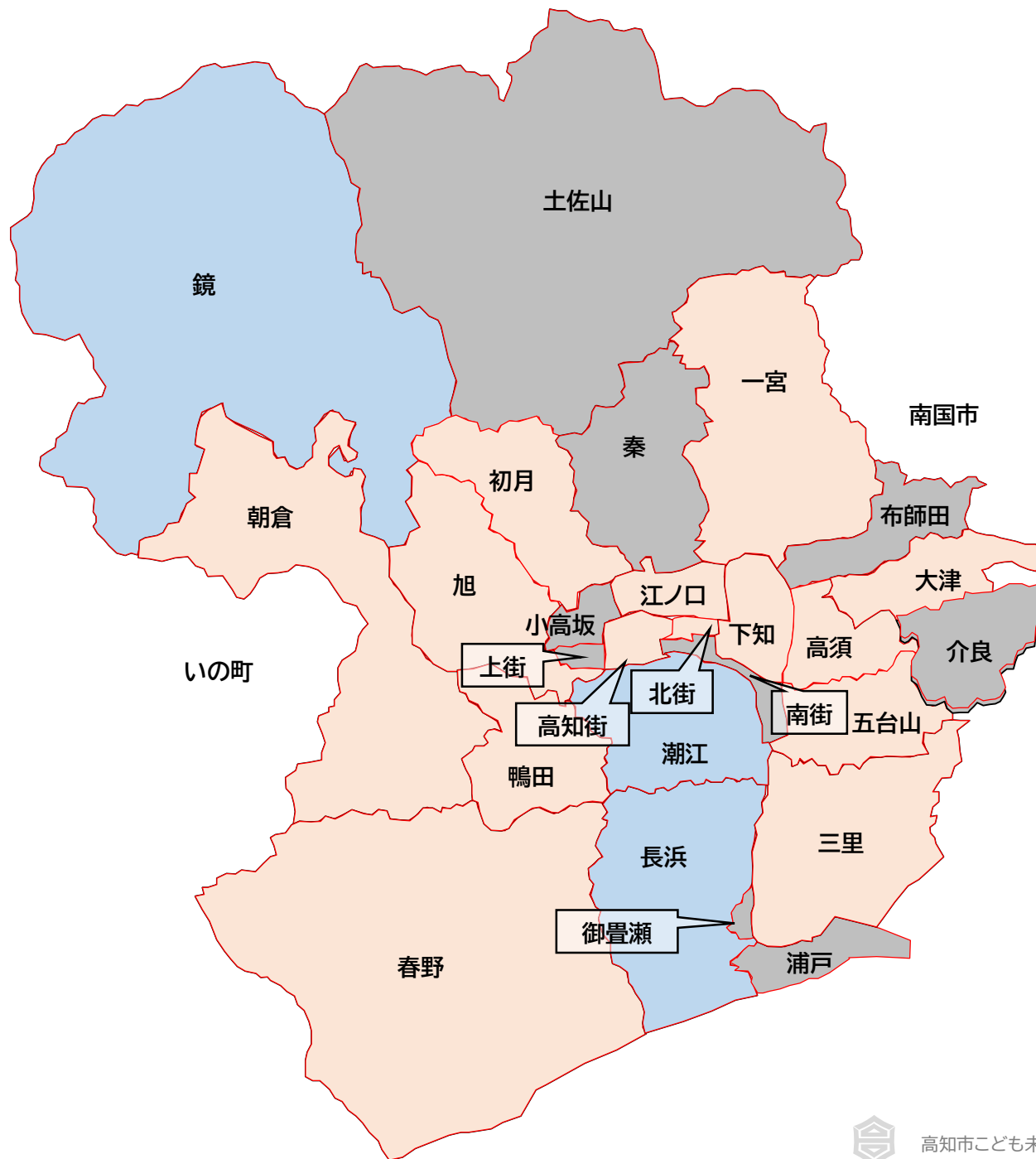
※ R4答申では2020年国勢調査人口(7,354人)と比較して、2040年には約28%の減少が予測されたが、時点修正後には、減少率がさらに大きく約38%となる結果であった。
2050年には約42%減少すると推計されている。

(2) 大街毎の教育需要の推移と定員充足率について

年	施設の 地元率	教育需要推計							2023.4.1 利用定員 (1号)	定員充足率 2023.4.1時点の定員に 対する教育需要		
	2023	2023	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2023	2023	2045	RANK
上街												
高知街	25.86%	58	50	45	43	42	38	35	75	77.33%	50.67%	8
南街												
北街	10.00%	30	26	23	22	21	20	19	35	85.71%	57.14%	4
下知	30.00%	10	9	7	7	7	7	6	14	71.43%	50.00%	9
江ノ口	28.13%	64	54	49	47	46	42	39	94	68.09%	44.68%	11
小高坂												
旭街	46.34%	41	35	32	30	30	28	26	55	74.55%	50.91%	7
潮江	41.67%	36	31	28	27	26	24	22	75	48.00%	32.00%	15
三里	100.00%	6	5	5	4	4	4	4	10	60.00%	40.00%	12
五台山	0.00%	8	7	6	6	6	5	5	15	53.33%	33.33%	14
高須	55.56%	18	16	14	13	13	12	11	21	85.71%	57.14%	4
布師田												
一宮	62.75%	51	43	40	38	37	34	32	75	68.00%	45.33%	10
秦												
初月	49.37%	79	67	61	59	57	52	49	100	79.00%	52.00%	6
朝倉	69.23%	52	45	40	39	38	35	32	60	86.67%	58.33%	2
鴨田	50.00%	80	68	62	60	58	52	50	90	88.89%	57.78%	3
長浜	76.32%	38	33	29	29	27	25	24	125	30.40%	20.00%	16
御畳瀬・浦戸												
大津	35.19%	54	46	42	40	39	36	34	90	60.00%	40.00%	12
介良												
鏡	66.67%	18	15	14	13	13	12	11	90	20.00%	13.33%	17
土佐山												
春野	75.00%	24	20	19	18	17	16	15	16	150.00%	100.00%	1
	47.08%	667	570	516	495	481	442	414	1040	64.13%	42.50%	

●2045年大街毎の教育需要の定員充足率

年	2023.4.1 利用定員	定員充足率 2023.4.1時点の定員に 対する教育需要		
	2023	2023	2045	RANK
上街				
高知街	75	77.33%	50.67%	8
南街				
北街	35	85.71%	57.14%	4
下知	14	71.43%	50.00%	9
江ノ口	94	68.09%	44.68%	11
小高坂				
旭街	55	74.55%	50.91%	7
潮江	75	48.00%	32.00%	15
三里	10	60.00%	40.00%	12
五台山	15	53.33%	33.33%	14
高須	21	85.71%	57.14%	4
布師田				
一宮	75	68.00%	45.33%	10
秦				
初月	100	79.00%	52.00%	6
朝倉	60	86.67%	58.33%	2
鴨田	90	88.89%	57.78%	3
長浜	125	30.40%	20.00%	16
御畳瀬・浦戸				
大津	90	60.00%	40.00%	12
介良				
鏡	90	20.00%	13.33%	17
土佐山				
春野	16	150.00%	100.00%	1
	1040	64.13%	42.50%	



(3) 大街毎の人口推移と教育需要について

- 3～5歳児は2045年には市域全体で**38%**の減少が見込まれ、平均充足率は、2023年 **64%** → **2045年 43%**まで減少することが予測される。
- 教育需要を推計すると、2045年に現在の定員と教育需要に大きな乖離が予測される大街は、**鏡**、**長浜**、**潮江**。地域によって教育活動の維持が困難となる施設が見られることが予測される。
- 教育需要の子どもについては、園児募集は園独自に行い、園の判断で市外児童も利用することができる。園それぞれの特色によって園児を集めることや、教育需要で、なおかつ保育の必要性がある家庭のための預かり保育等によって、子育て世帯のニーズに応じた園の在り方の検討が必要。

4 幼児教育・保育の質の向上について

(国の動き)

「こども未来戦略」を踏まえた職員配置基準の改善について

令和6年度の対応

【公定価格上の加算措置】 ※告示を改正

- 新たに「4・5歳児配置改善加算」を措置する。
- 30：1の配置に要する経費と、25：1の配置に要する経費との差額に相当する金額を加算する。

※ チーム保育推進加算やチーム保育加配加算を取得している施設では、既に25：1以上の手厚い配置を実現可能としているため、引き続き、当該加算のみを適用することとする。

※ チーム保育推進加算は、主に3～5歳児について複数の保育士による体制を構築するための加算であり、令和5年度には、先んじて4・5歳児の配置改善を進めるため、大規模な保育所について、配置人数の充実（1人⇒2人）を行っている。



【最低基準等の改正】 ※内閣府令等を改正

- 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等を改正し、4・5歳児の職員配置基準を改善する。
- 人材確保に困難を抱える保育の現場に、混乱が生じないように、当分の間は、従前の基準により運営することも妨げないとする経過措置を設ける

年齢	従前の基準	新たな基準
4・5歳児	30：1	25：1

※ 3歳児については、平成27年度より「3歳児配置改善加算」を措置している。（令和4年度の加算取得率：約90%）

※ 3歳児についても、4・5歳児と同様に最低基準等の改正（20：1⇒15：1）を行う。

令和7年度以降の対応

- 1歳児については、保育人材の確保等の関連する施策との関係も踏まえつつ、加速化プラン期間中の早期に、6対1から5対1への改善を進める。

【参考 1】 総務省推計方法による推計児童数の算定

指標	推計方法
0～5歳児数	【2040年0～4歳人口(市町村単位)「令和5年社人研推計」】 +【2040年5～9歳人口(市町村単位)「令和5年社人研推計」】 ×【2040年の5歳児人口が2040年の5～9歳人口に占める割合(全国単位)「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(社人研)】
3～5歳児	【2040年0～4歳人口(市町村単位)「令和5年社人研推計」】 ×【2040年の3～4歳人口が2040年の0～4歳人口に占める割合(全国単位)「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(社人研)】 +【2040年5～9歳人口(市町村単位)「令和5年社人研推計」】 ×【2040年の5歳児人口が2040年の5～9歳人口に占める割合(全国単位)「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(社人研)】

※ 総務省推計方法により、0～5歳、及び3～5歳児数を推計。各年ごとの推計に必要な割合は以下のようにそれぞれ算出した。

表1-9(21) 男女年齢各歳別人口(総人口):出生中位(死亡中位)推計(つづき)
 (21) **令和22(2040)年** (1,000人) 総務省WG方式(以下同じ)

年齢	総数	男	女
総数	112,837	54,716	58,121
0	720	369	351
1	728	373	355
2	736	377	359
3	744	381	363
4	752	385	366
5	758	388	370
6	764	392	373
7	770	394	375
8	774	396	378
9	777	398	379
10	779	399	380

3～4歳人口が0～4歳人口に占める割合			
3～4歳	A	1,496	
0～4歳	B	3,680	
割合	A/B	0.406522	

5歳人口が5～9歳人口に占める割合			
5歳	A	758	
5～9歳	B	3,843	
割合	A/B	0.197242	

【参考 2】 大街毎の保育需要の求め方 (例: 介良地域の2045年保育需要の推計)

- ① 各大街に設置された保育施設について、2023.4.1時点の施設利用状況を確認し、**地元児童数**と**地元外児童数**を算出

例) 介良・・・2023.4.1時点の利用児童数 : 270人(中野保育園123人, 愛善保育園127人, 介良西部保育園20人)
うち、介良に居住児童数(**地元児童**) : **231人**(中野保育園103人, 愛善保育園115人, 介良西部保育園13人)
すなわち**地元外児童数** 39人
⇒ **施設の地元利用率**は、**85.56%**(介良の施設利用児童のうち介良居住児童数/介良3園の施設利用児童数)

- ② 2023.4.1時点の各大街居住児童数のうち、居住地と利用保育施設が同一の大街である児童の割合(**地域の地元利用率**)を算出

例) 介良・・・2023.4.1 0-5歳児童数 499人, そのうち231人が地元の保育施設を利用している。
⇒ **介良地域の地元利用率**は、**46.29%**(介良の施設利用児童数/介良0-5歳児童数)

- ③ 0～5歳の大街毎推計児童数を算出

例) 介良・・・P.12の2023.4.1時点の大街占有率は、3.85%。
2045年の介良地域の推計児童数は、市内9,076人の3.85%の**349人**の見込み。

- ④ 各大街毎の推計児童数から、地元施設利用児童数と地元外児童数を推計し、その合計を保育需要とする。

地元施設利用児童数 : ③により算出した大街推計児童数×②地域の地元利用率

地元外児童数 : ①2023年地元外児童数×市内児童数変化率

※「市内児童数変化率」: 2023年⇒推計年の0-5歳市内児童数変化率

例) 介良・・・2045年の**地元利用児童**は、**162人**と推計。

2023年(12,977人)⇒推計年2045年(11,399人)の市内児童数変化率を算出。

①2023年地元外利用児童数(39人)に市内児童数変化率乗じて算出。2045年の**地元外児童数**は**27人**と推計。

⇒ 2045年保育需要は、地元施設利用児童162人+地元外児童27人=**189人**

※これは、2023年介良の利用定員365人の**51.88%**しか満たしていないことになる。